

4 村山浅間神社

《富士宮市》

平安時代末期に富士山の噴火が衰えると末代上人など山中で修行する人々が現れました。これが発展し、鎌倉時代の終わりには富士山における修験道が成立します。この中心となったのが村山浅間神社(興法寺)です。江戸時代末までこの修験者たちが大宮・村山口登山道を管理しました。

